

② ストラップの長さの調整をしましょう。

* 桶太鼓の傾け具合は決まりました。打面を、出来るだけ身体の中心に近付けることもしました。後はストラップの長さを調整するだけです。

My 桶太鼓の場合、長さが一度決まれば練習の度に触ることはありませんが、問題はチームで共有の場合です。つい面倒なために、長さは無頓着で使うのはよくありません。

上達のコツの一つとして、本人にとっての『ベストなバチ』、『ベストな太鼓の大きさ』、『ベストなストラップ長さ』が挙げられます。

* 画像は：

【下手】 短すぎて左腕が窮屈。

この長さで見事に演奏している奏者を多く見かけます。これも「有り」の長さです。「自分が打ちやすければ、どんなスタイルでもいい」と言うのは当然のことですが、習い始めは「より自然な」、「より楽な」ポーズをお薦めする、ということです。

【上手】 長すぎて両腕が伸び切り、奏者自身も窮屈ながら、見ている方もいかにも窮屈そう。後に出てくる「左手L面打ち」には対応出来ない。

【中央】 これがお薦めのポーズ！ストラップの長さ。

撮影時余談：上手・下手の女性は身長152cmです。バチが少し長いですね。

あと10mmか15ミリ切り落としながら、微調整していきましょう。

桶太鼓は尺5、胴幅尺7です。ちなみにそれぞれ my 桶太鼓。

